

令和3年第二回都議会定例会

文 書 質 問 趣 意 書

提出者 里 吉 ゆ み



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

質問事項

一 住宅支援について

一 住宅支援について

コロナ禍による失業や収入源の影響は、生活のあらゆる場面に表れています。都は昨年度からビジネスホテルなどを活用した住居を喪失した方々への支援を行っています。こうした支援は重要ですが、期限があり根本の不安は払しょくされません。

1 失業や雇止めと同時に住居を失う人が数多くいます。まさに「住まいの危機」とも言える状況で、公的住宅の果たす役割、重要性が高まっています。

兵庫県では、県営住宅を3,000戸活用し、住居喪失した方や住居確保に困難がある方を受け入れています。住民票も必要なく、収入についても直近1か月の給料明細で確認するなど、手続きを簡略化し、迅速に支援を行っています。

都営住宅は現在、募集用や、建て替えの一時移転用など約2万8,000戸が空き家となっています。都としてもコロナ禍で住居喪失した方や住居確保に困難がある方へ、都営住宅を活用し支援すべきですが、いかがですか。

2 こうした住まいの危機を開拓するためにも、今こそ都営住宅の新規建設再開に足を踏み出すべきではありませんか。見解を伺います。

令和 3 年第二回都議会定例会

里吉ゆみ議員の文書質問に対する答弁書

質問事項

一 住宅支援について

1 都営住宅は現在、募集用や、建て替えの一時移転用など約2万8,000戸が空き家となっている。都としてコロナ禍で住居喪失した方や住居確保に困難がある方へ、都営住宅を活用し支援すべきだが、見解を伺う。

回答 答

都は、コロナ禍を踏まえ、令和3年1月から、都営住宅入居者の毎月募集や常時申込みが可能な随時募集を拡充し、生活に困窮する都民への居住支援の充実を図っています。

また、令和3年6月から、TOKYOチャレンジネット事業に提供している都営住宅の戸数を更に拡大し、住まいを失った方の一時利用住宅として活用しています。

質問事項

一の2 こうした住まいの危機を開闢するためにも、今こそ都営住宅の新規建設再開に足を踏み出すべきだが、見解を伺う。

回答 答

都営住宅については、これまでも既存ストックの有効活用を図り、適切な供給や適正な管理に努めてきました。

今後とも、社会経済情勢が変化する中で、重要な役割を果たしている都営住宅について、既存ストックの有効活用を図り、住宅セーフティネット

の中核としての機能を的確に果たせるよう取り組んでいきます。